

＜日商簿記1級商業簿記ミニテスト20＞本支店会計

＜問題1＞

次の資料に基づき、総合損益勘定を完成させなさい。

- ①本店の損益勘定貸方残は 500,000 円、支店の損益勘定貸方残は 300,000 円である。
- ②本店から支店への商品の振替価額は、原価に対し每期 10%の利益を付加した価格で行っている。また、支店は本店からのみ仕入を行っている。
- ③支店の期末棚卸高は前期末が 44,000 円、当期末が 55,000 円である。
- ④税引前当期純利益に対して 40%の法人税等を計上する。

＜問題2＞

次の資料に基づき、ニューヨーク支店の当期における円貨による貸借対照表および損益計算書を作成しなさい。

決算整理後残高試算表 ×30年3月31日（単位\$）

現金	1,000	買掛金	1,200
売掛金	2,000	借入金	500
繰越商品	500	本店	1,100
備品	400	売上	4,000
仕入	2,000		
減価償却費	100		
その他費用	800		

- ①本店における決算整理後残高試算表の支店勘定は 115,500 円である
- ②当期商品仕入高は 1,800 \$ である。期首商品棚卸高はない。
- ③為替相場（1 \$あたり）

備品の購入時	100 円
商品の仕入時	105 円
商品の売上時	98 円
期中平均	99 円
決算時	97 円

<解答用紙>

<問題 1>

総合損益

相手科目	金額	相手科目	金額
繰延内部利益控除	5,000	損益	500,000
法人税等	319,600	支店	300,000
繰越利益剰余金	479,400	繰延内部利益戻入	4,000
合計		合計	

<問題 2>

貸借対照表

×30年3月31日

科目	金額	科目	金額
現金	97,000	買掛金	116,400
売掛金	194,000	借入金	48,500
商品	52,500	本店	115,500
備品	40,000	当期純利益	103,100
合計	383,500	合計	383,500

損益計算書

自×29年4月1日 至×30年3月31日

科目	金額	科目	金額
期首商品棚卸高	0	売上高	392,000
当期商品仕入高	210,000	期末商品棚卸高	52,500
減価償却費	10,000		
その他の費用	79,200		
為替差損	42,200		
当期純利益	103,100		
合計	444,500	合計	444,500

B S で利益逆算→B S 利益を P L に移記→P L 差額は為替差損益

B S (貨幣項目はC R・非貨幣項目H R・本店との取引は円貨)

P L (H R・A Rも容認)